

1 学校名 石岡市立柿岡中学校

2 研究テーマ

生徒が学び合い、教師や保護者も学び合い成長し合う「学びの共同体」としての学校づくり  
～生徒の学びを中心とした活動的で協同的で表現的な授業の創造～

3 研究実践の主な分野

学力向上	心の教育	環境整備	安全指導	その他（具体的に）

特に重点とする項目， 取り扱う項目， 場合によっては取り扱う項目

4 活用内容について

活用場面	活用人材	支援内容
・校内授業研究会	・外部講師 ・地域人材	・各教科の授業づくりへの指導講師 ・道徳のゲストティーチャー
・学校行事	・外部講師	・体育祭・音楽祭・卒業式の歌唱指導講師
・総合学習	・保護者	・職業に関するゲストティーチャー
・奉仕作業	・保護者	・校舎内外の親子での労力奉仕
・おもしろ理科教室	・おもしろ理科先生	・理科の授業づくりへの指導講師
・職場体験学習	・地域事業主等	・職場体験学習の場の提供と指導講師
・家庭教育学級	・地域人材	・太極拳指導講師
・マナーアップキャンペーン	・保護者	・朝のあいさつ運動への協力
・子育て講座	・スクールカウンセラー	・子育て講座講師
・そうじに学ぶ会	・保護者 ・そうじに学ぶ会	・校内トイレ清掃労力奉仕

5 行政機関の活用について

協力行政機関名	活用日数	延べ人数	活用内容
石岡公共職業安定所	1	1	総合学習での生き方指導
石岡警察署	1	1	防犯訓練と講話
八郷保健センター	1	1	性に関する講演講師
石岡市建設課	2	3	通学路整備
石岡市教育委員会	2	2	マナーアップキャンペーンあいさつ運動への協力

6 実践研究内容例

(1) 「学びの共同体としての学校づくり」の活動

学校づくりに必要なこと

今一番大切なことは、生徒の心を育てることである。学級で、授業で、学校行事で生徒の心を磨くことである。心を揺さぶる何かをたくさん体験させることである。感動と意外性をもたらす何かを、心を動かす何かを、次々と提供していくことが必要である。

そのような取り組みの中で、豊かな感性と知性に満ちた子どもを育てたい。そのためには、外からの力をためらうことなく学校へ採り入れていく。学校内部の力をゆり動かすために、外からの力を借りて学校づくりに取り組んでいく。（H17.4.7 学校長）

「学びの共同体としての学校」とは

・子どもたちが学び合う場

活動的な学習：「もの」や「こと」との対話により自分の考えと出会う。

協同的な学習：「ひと」との対話により自分の考えを深める。

表現を共有した学習：「じぶん」との対話により自己を確立する。

・教師が専門家として学び成長し合う場

子どもや保護者の声を聴く：子どもを受け止め、子どもの良さ・可能性に気づく。

全教師が授業を公開する：教師がお互いに学級をひらくことで同僚性を築く。  
校内研修を学校の軸とする：互いに認め合い，高め合うことで専門性を磨く。

- ・保護者や地域住民が教育活動に参加して学び合う場  
子どもの声を聴く：我が子ときちんと向き合う。  
子どもの学びに参加する：我が子と共に考え，共に成長する。  
他の保護者や教師と関わる：学校や地域の中で，保護者も学び続ける。

#### 「学びを中心とする授業づくり」の授業研究



外部講師を招いて歌唱指導



「聴く」ことによる表現の共有



「グループ」による協同的な学習



「もの」を採り入れた活動的な学習

#### 「学びの共同体としての学校づくり」におけるスクールサポーターの活用



労力奉仕による通学路舗装



保育所での職場体験学習

(2) 次年度の取り組み

学びの共同体としての学校づくり

教師と生徒のよりよい人間関係の構築

- ・生徒の良さに目を向ける柔らかな人間関係づくり
- ・生徒の気持ちを共感的にとらえるケアリングを軸とする指導の充実

学びを中心とする授業の創造

- ・活動的で協同的で表現的な授業づくり
- ・高い課題を設定し「背伸びとジャンプ」のある授業づくり
- ・「聴く・つなぐ・戻す」教師の指導の充実

学び合う「同僚性」のある教職員集団づくり

- ・日常的な授業等の公開による開かれた学級づくり
- ・個人テーマに基づいた全教師による研究授業公開と振り返りの場の充実

保護者が学びに参加する授業づくり

- ・G Tとしての学びへの参加
- ・授業参観時における学びへの参加
- ・P T A活動における学びへの参加

スクールサポーター制度の拡充

外部講師や保護者の活用の拡充

コーディネーターを中心とする学校支援体制の充実

よりいっそう開かれた学校づくり

学校フリー参観日の拡充

学年・学校だより等のよりいっそうの充実

P T A懇談会・P T A評議員会等の充実